



2019-20年度
国際ロータリーのテーマ
RI会長：マーク・ダニエル・マローニー

今月のロータリーレート 1\$=108円

2019-20年度 ◆クラブテーマ◆

【原点回帰】

会長：橋本 孝来 副会長：森田 安高
幹事：大田 次男 副幹事：東上里 和広

地区ガバナー：新本 博司氏 奉仕の実践/平和で明るい未来

今週の御嶽の紹介 嘉手苺御嶽(カチガラオン) 大浜

白保集落のほぼ中心に位置し、真謝井戸の前にある御嶽です。
石垣島の中でも農業の盛んな白保ですが、豊作を祈る「豊年祭(プーリィ)[*]」が行われる場所の一つとして有名な御嶽です。この豊年祭でのムラプールの嘉手苺御嶽を中心に行われ、中でも白保独自の伝統行事「稲の一生」では、稲作における過程が毎年異なった演出で演じられます。「嘉手刈御嶽」は、元々は嘉手刈原から白保にムラが移動した際に、故地を忘れないように故地に因んだ名称がつけられた御嶽です。

※豊年祭の初日には神司(カンツカサ)が取り仕切る「オンプール」が行われ、海や山で捕れた自然の恵みや田畑で収穫した作物を供え、その年の収穫に感謝を捧げます。2日目には村人総出で「ムラプール」が行われ、来年の五穀豊穰を祈願する神事が取り行われます。旗頭の奉納、奉納舞踊、ミルク(豊作神)行列、綱引きなどの様々な奉納が行なわれます。

「嘉手苺御嶽」



「真謝井戸」の碑



10月2日(水) 例会報告

《司会進行：松尾 和彦》

ロータリーソング：君が代 四つのテスト

ソングリーダー：大浜 勇人

メイクアップ：新城 永一郎 漢那 憲隆 宮良 榮子

小林 正道 前木 繁孝 前原 博一 大城 文博

会員総数	44名
出席義務会員	43名
出席数	27名
欠席数	16名
出席率	62.27%
通算出席率(9月)	61.11%

★11月のプログラム 11/6(水)ゲスト卓話:伊良皆 誠氏 11/13(水)最新心肺蘇生法講習会&夜間例会

例会日 水曜日 12:30~13:30
例会場 アートホテル石垣島(0980)83-3311
事務局 〒907-0013 石垣市浜崎町 1-1-4

TEL/FAX(0980)83-2917
URL <http://ishigaki-rotary.jimdo.com>
E-mail ishiroatary@ninus.ocn.ne.jp

◆◆◆会長挨拶: 橋本 孝来◆◆◆



今度の台風18号は強かったですね。なんだか毎回台風の話している気がします。短い停電で助かりました。通信障害って起きるんですね。電話やインターネットが使えない事態は切実です。これからの時代キャッシュレス決済は必要ですが、現金を持っておかないと水や食料、ガソリンも買えません。災害グッズに必要な最小限の現金も入れておかないといけないと思います。昔救急病院の連絡会を主催していたことがあります。その頃西暦2000年問題がありました。下二桁が00となることからコンピューターが1900などと認識して、誤作動を起こすのではないかといった問題です。JRをはじめ全ての交通機関も停止して待機したと記憶しています。病院では水も暖房も止まり、医療機器がすべて停止することを想定し、大晦日に大勢の職員が詰めました。十分な備蓄、全ての医療機器は手動装置への切り替え、通信については薬品会社など取引先の社員にお願いしてバイク便のボランティアチームを作りました。2100年には我々は生きていませんが、きっと違う電算方式になっているでしょうということらしいですが、非常時にはアナログに戻る対策をしておかなくてはなりません。医療の現場でも電子カルテを始め多くのITが使われていますが年に一度紙ベースで仕事をする日を設けている医療機関もあります。さて、本日は山下さんの入会式と、我那覇さんによる会員卓話です。楽しみにしていました。よろしくお願いします。

◆◆◆幹事報告: 大田 次男◆◆◆

先週の防犯教材DVDの寄贈についてありがとうございました。お陰様でマスコミ2社に掲載していただきました。9/21(土)に国際平和の日で鐘打式に参加してきました。10/22のIM大会の参加者は21名となっております。前日の10/21に入りますので、その日の当クラブの懇親会と大会終了後の懇親会はおって連絡いたします。10月は米山月間となっておりますので豆辞典もご覧になってほしいと思います。10/24は世界ポリオデーです。ポリオデーを知っていただくために、ポスター、チラシ等の購入依頼があります。詳しくは事務局まで問い合わせてください。また10月は「地域社会の経済発展月間」でもあります。石垣RCの「らしさ」のキャッチコピーの募集をいたします。会員の方から我がRCはどういうRCかということを一言で分かるように、特徴が分かるような表現のキャッチコピーを募集いたしますので、よろしくお願いいたします。それを11月の理事会で確定し

て報告する段取りです。

-----第四会理事会の報告-----

8月九州北部豪雨災害支援金のお願いの依頼があり、任意ではありますが、可能であれば一人500円以上のご支援をお願い申し上げますとの内容です。理事で確認した結果、クラブでまとめて500円の会員数分を支援することといたしました。八重山特別支援学校からの依頼については、11/24に行われます「第31回沖縄県特別支援学校体育大会」プログラム広告依頼がありましたが、締切り間近での依頼でしたので今回は掲載されません。A5サイズの掲載をするつもりでいましたが、時間の都合上プログラムの広告掲載はありません。それともう一つに「本校教育に係る連携等についての依頼」もありました。今後、私達ロータリアンの各職場において特別支援学校の生徒達、インターンシップの受入れ等のお願いを今後行っていきますので、よろしくお願いいたします。とのことで詳細につきましてはこれからのになりますが、実際のインターンシップの期間が毎年6月中旬の二週間ぐらいで受入れを図るとのことで来年になると思いますが、協力依頼が来ておりますのでお知らせ致します。退会者についてですが、9月末を持ちまして小底厚子会員が退会いたしました。公開例会についての開催に係る費用について理事会で承認していただき、「3万年前の航海 徹底再現プロジェクト報告会」の広告を載せます。イメージ的には、タイトルの方の方にクラブ会員の職業名の広告を掲載し、それに伴いお一人3千円の費用を回収することとなりましたので、よろしくお願いいたします。

◆◆◆会員からの報告◆◆◆

米山委員長: 大浜 勇人 氏

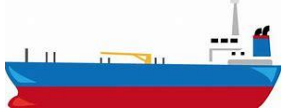
10月は米山月間ということになっていますので一言お話しさせて頂きたいと思います。豆辞典が皆さんに配布されて手元にあると思います。寄付金のお願いと米山奨学の制度について分からない方もいらっしゃると思いますので、少し説明させてもらおうと、奨学費用は学生さんに対して奨学金を支給するという取組をしています。学生さんは、日本の大学に入学している外国人の学生さんに対しての事業です。目的としては、日本をより分かってもらって将来的には外国と日本の架け橋になってもらう目的で、50年の歴史があります。豆辞典の9頁に2020年度の日本全体で受入れている奨学生が825名、その内2580地区が39名となっております。2004-19学年度で129の国と地域で受入れた人数は、21,023人となっております。この奨学金の財源は我々ロータリアンが負担している現実であります。年間約50億のお金がかかるということで、当クラブは前回の理事会で、普通寄付を1,500円から5,000円に上げるということを確認いただきました。それ以外に特別寄付というのがあり、今日はそのお願いです。米山の事業を理解して頂いて、1万円

もよろしいですので、ぜひ寄付の方をよろしくお願いいたします。来週の例会は休会ですが、那覇クラブに在籍しているオーストラリアの女の子がいて、卓話依頼が宜野湾RCからありましたので、私は随行で行って参ります。奨学生は毎年、宮古島と石垣で交互に学生さんに卓話をしていますが、今年は宮古島ですので11月4日に行き参ります。週報に「ロータリー米山祈念奨学会 50年の歩み」発刊についてが載っております。限定3,500部の1,800円ですので、ご購入の方は事務局までお願いいたします。

◆◆◆会員卓話：我那覇 宗善 氏◆◆◆

八重山港運(株)代表取締役社長

◆テーマ◆
海運業について



こんにちは、八重山港運の我那覇です。

八重山港運は船会社・琉球海運の子会社であり、八重山総代理店であり、また私は琉球破壊運出身でありますので、今日は船会社・琉球海運の歴史などをまじえ、お話しさせていただきたいと思っております。

琉球海運は1950年(昭和25年)1月23日に創立され、来年の1月23日には創立70周年を迎えます。各航路拠点の支店・事務所は北からそれぞれ東京支店、大阪支店、福岡支店、鹿児島事務所、宮古支店、八重山支店、台湾駐在員事務所となっております。船舶は東京、大阪航路にニライカアイII(11,687総トン)同じく東京、大阪航路にしゅれいII(11,687総トン)博多、鹿児島、宮古、石垣航路にちゅらしま(9,483総トン)さらに博多、鹿児島、宮古、石垣、台湾航路はみやらびII(10,184総トン)そして博多、鹿児島航路にわかなつ(10,185総トン)博多、鹿児島、宮古、石垣にかりゆし(9,952総トン)が就航しています。

なお、最近この大型6隻の貨物ローラー船軍団に1隻の新たな貨物ローラー船(勇王丸)が加わりました。すべて貨物ローラー船です。他方、貨物在来船の用船により、出荷は石垣島製糖さんの分蜜糖輸送、入荷は米・麦などの輸送を行っています。歴史をさかのぼれば、定期旅客航路を開設したのが1952年(昭和27年2月)です。以後、54年に「那覇丸・鹿児島」59年に「宮古丸」が先島航路に、そして順次大阪・神戸・門司、京浜(東京・横浜)、阪神(大阪・神戸)と開設していきます。

ところが、その直前の1973年11月に建築中の「琉海ビル」の陥没事故が起きました。事故の様子はテレビで実況中継されるくらい大きな事故で、すさまじいものでした。同ビルは建っておれば地下4階、地上20階のホテルとしての構想でした。余談ですが、丁度その次期、私を含む同期7名は琉球海運に入社が内定していて、採用を取り消される

のではないかと心配して揃って挨拶に伺ったものです。無事、採用されました。琉球ビルの陥没事故が何かの予兆のように、琉球海運の海洋博輸送への過剰投資は折からの経済不況もあり、会社経営を圧迫し、1976年10月は会社更生法を申請し事実上倒産しました。その後はまさにいばらの美知でしたが、更生法手続きは20年を待たずして債務を完済し、1995年2月に終了しました。

琉球海運が今日海運業を継続できているのは、更生法期間中も船舶を継続建造し続け、さらに時代の流れに逆らわずに、2006年には旅客事業から撤退したことが一因に上げられます。船舶の耐用年数は15年です。仮に5隻体制だとしても単純に3年に一度はリプレースしなければなりません。私が事務部門を担当している時はかなり資金的に苦しい時で、建造時の自己資金約30%の調達が厳しいものでした。

過去の厳しい時代を乗り越えた現在の琉球海運は先ほど述べました大型ローラー船6隻体制(近日7隻)により、売上は年々増加し、それに対応する陸上の物流倉庫部門も活発です。すでに、那覇港・中城・糸満に大型物流倉庫を活用しています。

少し、余談のお話をしたいと思います。先ほど述べましたが、私は昭和49年4月に琉球海運に入社いたしました。経理部門に配属されたものでしたが、まだコンピューター・パソコンが普及していない時代のことで、すべて手作業の時代でした。あえてハイテクといえるのは電卓くらいでした。今考えれば悲惨に感じますが、その当時はそれが最初の仕事ですから疑問にも思いません。具体例を話しますと、決算(月次決算でも良いが)をするには財務諸表を作らねばなりません。それに至る底辺の仕事が私の仕事です。「記帳転記」から「元帳の締め」で「合計残高試算表」を作成しますが、そこで必ず「転記間違い」が起きます。その転記の量は半端ではありませんから、あらゆる種類の「転記間違い」を経験しました。昨今ではOA化が進み、つくづく同じ仕事でも楽というか幸せさを感じます。

もう一つ余談です。琉球海運の特徴の一つに、支店勤務があります。主に東京・大阪・福岡に多くの職員を置きますので、その転勤のローテーションはかなり厳しいものです。最初は3、4年の正確なローテーションでしたが、そのうち交代要員等の問題もあって、永い人は10年を超すこともあります。するとどういことが起こるか、家族で転勤して10年くらいになると、子供は成長してその地に根を張ります。つまり本社転勤になっても、「お父さんだけどうぞ帰ってください」というわけです。私は最後は福岡で13年過ごした結果、娘は佐賀に嫁ぎ、息子は福岡嫁をもらい福岡に在住です。悲劇だと思いませんが、周りに似たようなケースは欠航多かったです。

最後に、琉球海運は「夢とくらしと文化をはこぶ」をモット

一としております。

八重山港運は経済理念として「お客さまを大切にする企業」「地域社会に愛される企業」「社員が生きがいを感じる企業をめざします」と掲げています。

私は常々従業員にこの経営理念を解釈するに、順番を変えて「まず自分(社員)が社会に生きがいを感じてもらって、そうすると自然にお客さまを大切にすることができるから、結果として地域社会に愛される企業になろう」と呼びかけています。ご静聴ありがとうございました。

◆◆◆新入会員：山下 暢氏◆◆◆

会社名：アートホテル石垣島
役職：総支配人
職業分類：ホテル業
生年月日：1965年11月9日



こんにちは。存じ上げている方もいらっしゃると思いますが、実は、私10年前まで2005年から2009年まで石垣島で仕事をしておりました。当時は石垣グランドホテルで、4年ほどそちらで仕事をさせて頂いて、その後沖縄本島や内地の方に転勤したりして、途中で会社は変わったんですが、縁あってまた石垣島に戻って来ることになりました。

私が知っている時、ここは日航ホテルだったんですが、私どものマイステイズが運営を携わりアートホテル石垣島になりました。伝統あるホテルで皆様とお食事を交えたり、これからビジネスをさせていただくにあたり、非常に重責だと思いつつこちらに今、立っております。そして皆さんの仲間入りが出来たことが、非常に嬉しく思います。まだまだ分からない事、忘れてることいっぱいあると思いますので、いろいろ教えて頂きたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

～入会式風景～



～会員卓話風景～



本日のココロ

- ☆橋本 孝来氏: 山下さん、ロータリーへようこそ!! よろしくお祝いいたします。
- ☆大田 次男氏: 通信障害でご迷惑おかけしました! 今後ともよろしくお祈りいたします。
山下さん入会おめでとうございます。
- ☆南波 正幸氏: 山下さんようこそ石垣ロータリークラブへ!
- ☆今西 敦之氏: 山下様 よこそおいで下さいました。よろしくお祈り致します。
- ☆金城 智子氏: ART HOTEL 山下GMご入会おめでとうございます。
- ☆山下 暢 氏: よろしくお祈り致します。

◆BOX ¥7,000 (累計 ¥104,000) ◆コイン ¥2,151 (累計 ¥37,530) 合計 ¥135,530



HAPPY BIRTHDAY

大濱達也氏 6日(日) 吉田貴紀氏 6日(日) 宮良薫氏 12日(土)
金城智子氏 20日(日) 上原晃子氏 23日(水) 今西敦之氏 28日(月)



～夜間例会風景～

◆◆◆2019年10月16日(水)夜間例会◆◆◆

第13回(通算2853回) 19:00 於:アートホテル石垣島



佐久本さん夫妻仲良くデュエット♪



黒島博さんの民謡ショーで盛り上げて頂きました！ 橋本会長もカラオケで盛り上げて頂き、親睦も深まりました。

～IM大会風景～

◆◆◆2019年10月22日(火)IM大会 in 宮古島◆◆◆

於:ホテルアトールエメラルド宮古島



2019-20年度 石垣ロータリークラブのテーマ
・「原点回帰」

ーロータリーの Identity に立ち返り、クラブを増強する

- ・ 知り合いを広める
- ・ 親睦を深める
- ・ 一人一人が個人として、事業、社会生活を通じて奉仕を行う
- ・ 地域や社会のニーズを汲み取ってこれを満たす

石垣RCのこれまでの活動と、今年度の活動について
橋本会長にご報告していただきました。



2010年2月

カンボジアでの地雷除去の活動もご報告

